

布佐中学校だより 1月号



我孫子市立布佐中学校 令和2年1月7日発行
我孫子市布佐1301 ☎7189-2426 Fax7189-2421



謹賀新年 令和2(2020)年を迎えて



新年明けましておめでとうございます。旧年中は本校教育活動の推進に対しましてご理解やご支援をいただき、誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

本日の3学期始業式で生徒に話したことを報告いたします。

「本校の学校教育目標は「自ら学び、共によりよく生きる生徒の育成」です。これは、2学期の終業式にも話しましたが、「自ら」という言葉の意味は、「自分から進んで～する」とか「自分から積極的に～する」、「自主的に～する」などの意味ととらえると思います。新学習指導要領をもとにした授業が小学校は令和2年から、中学校は令和3年度から始まります。そこには、「主体的で対話的な深い学び」というキーワードがあります。「主体的に～」というのは、「自分なりに考え、こんなふうにしようと自分で判断して取り組むこと」という意味ですが、これは、本校学校教育目標を「自ら学び」の意味に合致するものです。学習はもちろんのこと、行事や日常生活など様々なところで、自分なりに考えて自分で判断して取り組むことが大切だということが本校の目標の中にあるということを生徒、教職員すべての人たちで確認し、実践に向けて頑張っていきたいと思います。また、「共によりよく」とは、「お互いに認め合い、励まし合い、支え合って、自分の夢や希望の実現に向けて頑張り、それが社会貢献につながるような自己実現を目指しましょう」という意味です。3学期は、今年度のまとめ、締めくくりの学期であると同時に、3年生は4月からの新しい門出に向けた大切な準備期間、助走の時期でもあります。それは、1、2年生も同じです。PDCA サイクルという言葉がありますが、P(Plan=計画する)、D (Do =実行する)、C(Check=評価、反省する)、そして A(Action=改善する)を1年という単位を通して、また、学期をとおして、そして、1か月、1週間、1日を通して日々前進していけるように3学期の3年生は45日間、1、2年生は52日の学校での生活を過ごしてほしいと思います。」

以上が要旨となります。学校といたしましても、ご協力いただいた学校評価アンケート等をまとめて具体的な課題と改善策を考えていきたいと思えます。また、学校でできること・できないこと、ご家庭にお願いすること、また、地域の皆様をお願いすること、皆で考えなければならないことなど具体的にできることから進めていきたいと思えます。どうぞ、今年もよろしくお願いいたします。

○小中一貫運営協議会報告

12月19日(木)布佐中区小中一貫教育運営協議会が行われました。小中3校の教頭、校長、各評議員や自治会、PTAの代表の方々がメンバーとなり、学期に1度実施しています。今回の議題は、「防災」、特に昨秋の大型台風や集中豪雨の布佐地区の被害状況や各校の対応の状況を確認し、課題等について話し合いました。特に、布佐小・中との連携の強化や緊急時の避難や保護者引き渡しの方法等喫緊の課題について確認しました。今後、連携した対応策の検討、実施に向けて話し合いを継続していきたいと思えます。



○「ふさ子ども学習室」紹介・・・主体的な「家庭学習」の習慣づくりのために・・・

保護者会の全体会や学校だより等でお知らせしたことがあると思えますが、「ふさ子ども学習室」が地域のボランティアの方々の運営により取り組まれています。布佐中区の小中学生の家庭学習の習慣づくりのため6教室(上町・おおばん・ふさの風・南近隣は木曜、復興会館・新木駅前火曜)の夕方2時間、学習支援ボランティアが常駐・支援して家庭学習の習慣づくりに力を貸してくれています。ノ一部活デーなどに対応してくれていますので、「主体的な」学習を進めるためにも利用してみたいと思えます。



はじめ「ふさカリキュラム」に関する多くの貴重な資料の収集・活用にも力を入れていきます。布佐中の図書室で、布佐中生徒たちが地域の皆様によって寄せられた貴重な資料から情報を活用し、自分の言葉でまとめ上げる。時には、地域の皆様から直接話しを聴き、語り合う…そんな図書室にしたい思います。ご来校の際は、ぜひとも、保護者、地域の方々も気軽に図書室にお立ち寄りください。

○「紙」で読書?! ……電子書籍派よりも「紙」で読書の方が～

先日、下記のような新聞記事がありました。それは、「読書をする際、スマートフォンやパソコンなどの電子書籍よりも紙の本を読む人の方が、何事にも進んで取り組む意欲や、多面的に考える能力が高くなりやすい」という調査結果を報告するものでした。国立青少年教育振興機構が発表したもので、20代から60代の5000人を対象に読書に関する主な媒体や読書時間を調査しました。媒体として紙、スマホやタブレット、パソコン、複数の電子機器、ほとんど読まないの5グループに分類し、①物事に進んで取り組む意欲(主体的行動力)②多面的、論理的に考える力(批判的思考力)③自分を理解し肯定する力(自己理解力)をそれぞれのグループに出して自己評価してもらう内容です。その結果は、「紙」の本を読んでいるグループの人たちのほうが、主体的行動力、批判的思考力、自己理解力ともに、他のどのグループよりも高かったということです。同機構は「こうした力は媒体にかかわらず読書習慣のある人の方が高いが、紙がより優れている傾向が鮮明になった」としています。

ある調査結果から……

「紙で読書」能力高め

主体的行動力や思考力

「電子書籍派」よりも

読書する際、スマートフォンやパソコンなどの電子書籍よりも紙の本を読む人の方が、何事にも進んで取り組む意欲や、多面的に考える能力が高くなりやすい。そんな調査結果を、国立青少年教育振興機構が発表した。 (調査期間は2017年10月～12月、対象は20代から60代の5000人)

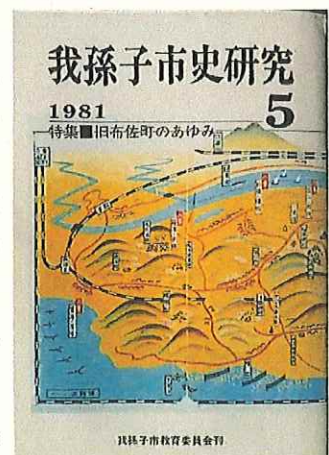
調査結果によると、紙の本を読んでいるグループの人たちは、主体的行動力や思考力、自己理解力ともに、他のどのグループよりも高かった。また、紙の本を読んでいるグループは、読書時間も他のグループよりも長い傾向があった。



上記の内容は、紙の本をただ単に「読んでいる」からというだけでなく、本を手にとって自分の興味や関心のあることをより深めたいとか高めたいとかいう「読もう」とする心持ちがあることにも関連しているのではないのでしょうか。ただ、ふと本を手にして少しだけ目を通してみたら意外と面白くてそのまま読み進めてしまった、ということもあるでしょう。大切な「本との出会い」が学校の図書室で待っています。

○本の紹介・我孫子市史研究 第5巻「特集 旧布佐町のあゆみ」…【我孫子市教育委員会刊5巻】

本校では総合的な学習の時間に行う「ふさカリキュラム」という授業があります。これは、布佐中区の小学校3年生から中学校3年生までの7年間に行う布佐の町を中心とする郷土学習で、布佐の町が輩出、ゆかりのある岡田武松博士や松岡鼎、柳田国男などの偉人たちや伝統・文化、また水害の歴史などを学習するものとなっています。来たる1月20日には、我孫子市文化・スポーツ課主幹で白樺文学館及び杉村楚人館の辻 史郎館長をお招きして布佐の歴史や文化についての講話をしていただく予定になっています。



また、2月14日には、地域のふさカリキュラム語り部ボランティアの皆様から直接布佐の歴史や文化についてお話を伺う予定になっています。そんな「ふさカリキュラム」の学習内容に大変関連する内容が掲載されている我孫子市教育委員会が発刊した「我孫子市史研究」(第5巻)を紹介します。これは今から39年前の1981年に「特集■旧布佐町のあゆみ」としてだされました。地元布佐に住む方々の原稿も多数掲載されている点もさることながら、我孫子、布佐を長年研究されている研究者や布佐の偉人といわれる方の親類縁者、ゆかりのある方々の原稿も多数掲載されています。「近代布佐の水害」「賃取橋・栄橋の研究」「布佐気象送信所」「旧布佐河岸の家並と生活」「布佐八景」等々の大変興味深い内容が掲載されています。図書室の「ふさカリキュラムコーナー」にありますので、ぜひ手に取ってお読みください。(1/20は保護者・地域の方々の参加も可です 13:30～多目的室です。)

○文化活動発表会報告・・・「布佐タイム」(総合的な学習の時間)～体験から学ぶ大切なもの～

昨年の11月30日(土)に「布佐タイム」(総合的な学習の時間・年間8回16時間)を中心とした恒例の文化活動発表会が行われました。布佐タイムは総合の学習の一環として長年行われているもので、1年生から3年生まで同一講座を3年間通して行う学習です。体験を通して学び、生涯学習の土台となる大切な学習と位置付けています。中学校を卒業した後も高校や大学、社会人になっても続けているという卒業生も多くいます。柔道やなぎなたなどの武道や華道、茶道、三味線や琴、ハーモニカ、絵画、書道や郷土芸能等の芸術、伝統文化に加え、グローバルピースなどの国際理解、布佐の偉人・岡田武松博士の郷里としての誇りを受け継ぐ気象学は気象専門家の先生方のご支援を受けて引き継がれています。また、当日は技術家庭科で作った作品の展示や特別支援学級で制作した品物の販売、吹奏楽部や美術部、市平和事業長崎派遣報告や国際交流スピーチや葛南英語大会生徒の発表も行われました。ボランティアさんの協力による地元布佐の人形展も同時に開催され、古くから布佐の町に伝わるひな人形などの展示も行われました。布佐タイムの講師は地元ボランティアの講師の方々が務めてくださり成り立つ大切な授業でこれからも大切な学びとして継続していきたいと思っています。ご協力本当にありがとうございました。



○1月・2月の主な行事予定

日	曜	1 月	日	曜	2 月
7	火	始業式 避難訓練(不審者対応) ノー部活デー	6	木	ノー部活デー
8	水	3年実力テスト 完全下校16:45	9	日	部活動停止期間～14日朝まで
9	木	委員会Ⅰ	10	月	完全下校17:15
16	木	委員会Ⅱ ノー部活デー	12	水	1.2年定期テスト① 県立高校前期入試①
17	金	1年総合磐梯噴火記念館佐藤館長特別授業23校時	13	木	1.2年定期テスト② 県立高校前期入試②
18	土	東葛飾技術・家庭科作品展～19日(県民プラザ)	14	金	委員会Ⅰ 3年ふさカリキュラム 語り部さん授業
20	月	3年布佐カリキュラム特別授業(講話)13:30～	20	木	ノー部活デー
23	木	3年定期テスト① ノー部活デー	21	金	委員会Ⅱ
24	金	3年定期テスト②	22	土	PTA運営委員会
26	日	新春マラソン	25	火	完全下校17:30
27	月	ノー部活デー 完全下校17:00	27	木	ノー部活デー
29	水	新入生保護者説明会			1/20の特別授業は見学可ですのでお越しください。

◇ 正門及び通用門を生徒在校時に閉めることについてお知らせとお願い ◇

本日の始業式の後に校内への不審者侵入対応のための避難訓練を実施しました。大阪教育大学附属池田小学校での児童殺傷事件はじめ、校内への不審者侵入の事例が多く報告されています。本校でも、不審者対応の避難訓練を実施しましたが、それに伴い、正門と通用門の改修、塗装が終了しましたので、生徒在校時は正門と通用門を閉めることとなりました。保護者、地域の皆様にはご面倒をおかけいたしますが、通行の際は、ご自身で開閉してください。よろしくお願いいたします。